

# 事務局だより

◆…いま注目のJリーグ。そのチェアマンの川淵三郎さんから、ご寄付をいただきました。これは三ッ谷代表の会社が主催するスポーツビジネスのセミナーに講師で来られた際、その謝礼をそのままくださったものです。ありがとうございます。今春から始まるJリーグの成功をお祈りいたします。

◆…昨年十二月二十一日～二十三日、「女性・健康・スポーツ」をテーマに日本体育学会第四十三回大会（東京）が開催されました。WSFジャパンからは二人の会員が研究発表をしました。清和洋子さん（姫路獨協大学教授）と小笠原悦子さん（鹿屋体育大学講師）です。内容の詳細は次号でお伝えする予定です。

◆…「この数カ月、生理がないけれど、このまま競技を続けても大丈夫かしら：」「走ると脚が痛むけれど、疲労骨折では：」。こんな悩みを持ちながらスポーツを続けている女性が案外多いのではないのでしょうか。

（財）日本陸上競技連盟では、そんなスポーツウーマンの悩みに答えられればと『ハッピーアスリートをめざして―女子競技者のために』という小冊子を刊行しました。

内容は「月経異常になったらどうし

たらよいのですか」「疲労骨折はどうして起こるのですか」「貧血を予防する食生活は」などの質問に具体的に答えるQ&Aスタイルで読みやすくまとめられています。スポーツ医学の基礎知識を得るにもうってつけの一冊。A5判36ページで定価五百円。ご希望の方は、（財）日本陸上競技連盟（☎03-3134-8111）まで。

## 新入会員紹介

（個人会員）▽中矢庸子（東京・千代田区）▽関谷亜矢子（東京・千代田区）▽山岡有美（東京・渋谷区）▽大貫映子（東京・練馬区）▽塩野啓子（東京・国立市）▽伊藤博之（東京・中央区）▽田中良子（東京・渋谷区）（十二月二十日現在）

## WSF Japan News

第24号 季刊  
 発行 1993年2月  
 発行人 三ッ谷洋子  
 編集 WSF ジャパン広報委員会  
 発行所 WSF Japan  
 〒151 東京都渋谷区西原3-36-23-203  
 SPORTS 21 内  
 TEL 03(3467)4360  
 FAX 03(3467)5455



## WSF ジャパン Q & A

—WSF ジャパンの協力事業「女性スポーツ京都会議」について、詳しく説明してください。

「これは京都新聞社が主催しているもので、第一回の会議は一九八六年です。その後、毎年一回おこなわれ、今年で八回目を迎えます。そもそもこのキッカケは、全国都道府県女子対抗駅伝を共催している京都新聞社が、駅伝の関連行事を探していたところへ、WSF ジャパンの活動ぶりが伝わり、三ッ谷代表が企画からお手伝いすることになったのです。

参加者は地域の女性スポーツの指導的立場にある方々や一般の愛好者

### WSF ジャパンとは

WSF ジャパン（女性スポーツ財団日本支部）は、米国のWSFをお手本とし、日本の女性スポーツの発展、振興を目指し、一九八一年十二月に旗揚げされた非営利の団体です。会員は選手、指導者をはじめ、一般のスポーツ愛好者、研究者、スポーツビジネスにかかわる企業関係者など、男女を問わずさまざまな分野にわたっています。ボランティア団体

主婦が多いことから、トップレベルのスポーツというよりは、市民レベルでの女性スポーツの在り方や、問題点がとりあげられてきました。

参加者は毎回、二百五十人～三百人。午後三時間を使って、講演二つとパネルディスカッションという構成です。昨年のパネルディスカッションでは「女性とスポーツ・きのう、きょう、あした」のテーマで、元駅伝選手や地域の女性スポーツ団体の代表、フリーライターなど四人の女性たちから、「女性スポーツの振興は男性の教育が第一歩」という結論が出され、大いに盛り上がりました。今年三月二十六日の予定です」

### 入会金 年会費

賛助会員…5万円 10万円（一口）  
 団体会員…5千円 1万5千円  
 個人会員…3千円 8千円  
 学生会員…3千円 5千円